

みずほマーケット・トピック(2024年5月14日)

# 通貨政策化する金融政策~定着する「為替との戦い」~

日銀による国債買い入れオペ減額が注目されている。利上げや円買い為替介入(と思しき動き)に続いて「量」に関しても引き締め過程に入ったという意味では注目される展開。おりしも、岸田・植田会談が日銀による円安けん制の前振れとして憶測を呼んでいた状況であり、6 月以降の会合に関し、引き締め期待は一段と強まっている。今も昔も日銀の金融政策が通貨政策化し、「為替との戦い」を強いられる状況は共通しているが、たった 10 余年でその方向が 180 度変わったことは驚きを禁じ得ない。なお、「金利は低くしたいが、円が安いのは困る」という状況は国際金融のトリレンマに照らして元々まかり通らない。いよいよ円安の受け入れが難しくなったところで「金利上昇も多少は受け入れる」という姿勢を明示し始めたのが 2024 年である。だが、需給構造の変容も踏まえれば、円安反転のために必要とされる利上げが「多少」で済むのか。現状では 6 月再利上げを期待する声は強くなっており、仮にそれを乗り切っても 7 月利上げは不可避の情勢。財政ファイナンスがテーマ化され円建て資産がトリプル安になる展開を懸念。

# ~利上げ、介入そして量的引き締め~

昨日は日銀による定例の国債買い入れオペ(残存期間「5 年超 10 年以下」)に関し、買い入れ予定額が前回 4 月 24 日の 4750 億円から 4250 億円へ▲500 億円減額されたことが話題となった。 3 月に長短金利操作(イールドカーブ・コントロール、YCC)を解除して以降で初の買い入れ減額であり、これを受けて新発 10 年物国債の利回りは一時 0.940%と、2023 年 11 月以来およそ 6 か月ぶりの高水準まで高まり、一時、円高・ドル安が進む場面も見られた。円高の動きは持続力に欠けるものではあったが、利上げや円買い為替介入(と思しき動き)に続いて「量」についても引き締め過程に入ったという意味では注目される動きだ。もちろん、4 月以降の「5 年超 10 年以下」の買い入れ予定額は「4000 億~5500 億円」という幅で示されていたゆえ、日銀としては「影響が無いと判断したから減額した」という主張になろうが、円安抑制を企図した判断と解釈するのが妥当だろう。

おりしも、先週7日には岸田首相が海外歴訪から戻って早々に植田日銀総裁との意見交換が持たれ、「最近の円安を政策運営上、十分注視していく」、「円安は経済物価に潜在的影響を与えうる」といった総裁発言が注目を集めたばかりである。明らかに4月26日会合の総裁会見が円安容認と批判されたことからの姿勢転換と読めるものであった。その思惑が燻っている中での買い入れ減額であり、日銀の金融政策運営において円安に対する問題意識が高まっている状況が透ける。

#### ~通貨政策化は日銀の歴史~

通貨安が一般物価に影響を与えるのは間違いなく、今の日本経済がその渦中にあることも疑いようがない。この点を指摘すると「企業は増収増益傾向にある」と持ち出す向きがあるが、誤解を恐れずに言えば、企業の好業績と家計の景況感悪化は併存するので、実質所得環境の悪化に喘ぐ家計部門にとっては何の慰めにもならない。今の日本において円安は優勝劣敗を徹底する相場現

象であり、格差拡大の起点となり得る厄介な代物である。もちろん、それでも「円安は日本経済全体 にとってプラス」という黒田元日銀総裁が連呼した事実は GDP の押し上げという 1 点に関しては認 められる局面もあり得るが、基本的に円安を善悪二元論で語ることは適切ではない。最終的には分 配の問題に帰着する議論であり、拙著「『強い円』はどこへ行ったのか」でもこの点は主張してきた。 これ以上の議論は別の機会に譲るが、まずは円安が家計部門を中心とする大多数の日本国民に 忌避されている以上、円安は政治的に許容されず、また、日銀もこれと歩調を合わせることが求め られる政策環境にあることは知っておきたい。

歴史的に日銀が金融緩和に踏み込んできたのは円高・株安が進んでいる局面であり、それは米 国が利下げ局面にあることが多かった。こうした状況はあたかも日銀の金融政策が米金利(FRB の 金融政策)を念頭に置いた通貨政策と化しているような状況であった。現在に目を移せば、円高防 止ではなく円安防止を念頭に置いて通貨政策化が進むような構図にある。わずか 10 年余りで通貨 政策化の方向が 180 度変わったことは驚きだが、今も昔も日本経済の最大の関心事として為替動 向が鎮座している事実は共通する。2008 年から 2012 年にかけて白川体制の日銀は「為替との戦 い」と苦心惨憺したが、2013年以降は同様の場面を経験することなく時が経過してきた。

### ~為替への異常な執着、再び始まる「為替との戦い」~

しかし、ここにきて日銀の「為替との戦い」は再び注目されつつある。現状、日銀の政策運営にお いて、為替が最大の説明変数になっていることは確かだろう。過去に行天豊雄・元財務官が日本 経済新聞の経済教室1で「先進国の中で日本ほど自国通貨の為替相場に一喜一憂する国はない。 率直にいって異常である」と執筆していたことを筆者は鮮明に覚えているが、その状況は今も全く 変わっていないし、変わる兆候も全くない。現在の日本では政治・経済・社会が円相場の一挙一動 に注目しており、ここに対する政策資源の投入に関しては容易に正当化されやすい雰囲気が強ま っている。金利上昇に耐性の無い日本でも、利上げ已む無しの空気は強まっている。

そもそも「金利は低くしたいが、円 国際金融のトリレンマ が安いのは困る」という状況は国際 金融のトリレンマに照らしてまかり通 るものではない(図)。「金利上昇を 受け入れるか、円安を受け入れる か」という二者択一を迫られつつ、 何とか誤魔化しながら円安を受け 入れてきたのが過去2年間の日本

国际並続のアプレント		採用国の例			
	政策目的	米国	日本	ユーロ圏、 香港など	中国など
1	独立した金融政策	0	Δ~Ο	×	△~O <sub>(※)</sub>
2	自由な資本移動	0	0	0	×
3	安定した為替相場	×	Δ~Ο	0	Δ~Ο

(資料)筆者作成 ※但し、中国は国務院の指導の下での政策運営となる。

だった。表で言えば、①と③にまつわる相互矛盾を何とか維持してきたわけだが、2024年に入り、 いよいよ円安の受け入れが難しくなったところで「金利上昇も多少は受け入れる」という姿勢を明示 し始めた状況と言える。とはいえ、米国の利下げが想定以上に進まず、需給環境についても際立 った円買い超過が確保されていない中、利上げについて「多少は受け入れる」程度の姿勢でどれ ほど円安を押し返すことができるのか。これまで繰り返し論じてきたように、需給構造の変容も踏ま えれば、円安反転のために必要とされる利上げが「多少」で済むかどうかは不透明である。

2024年5月14日 2

<sup>□</sup> 日本経済新聞「円相場と日本経済(上)脱『為替』経済へ構造転換を□行天豊雄 2014 年 10 月 29 日

## ~浮上する6月再利上げ~

先週の岸田首相との会談後、植田総裁は「今後基調的物価情勢にどういう影響があるかみていく」と述べていた。その事実と今回の買いオペ減額決定を合わせ見れば、必然的に6月14日会合での再利上げ期待はどうしても高まる。仮に6月の追加利上げが無かったとしても、円安容認と受け止められた4月と同じ轍は踏まないように、植田総裁は円安けん制を意図したタカ派色の強い会見を心がけるだろう。とはいえ、「会見はタカ派、運営はハト派」は通らない。6月を現状維持で乗り切っても、7月の展望レポート会合ではまた投機の円売りが引き締めを催促するはずだ。

### ~財政ファイナンスのテーマ化が最悪のシナリオ~

自川時代に経験したような「為替との戦い」が10年以上ぶりに始まってしまったのだとすれば、今後は漸次的に利上げが重ねられる可能性が高い。その後、ある程度の利上げ幅が溜まってくれば、今度は政府債務の利払い増加にまつわる様々な試算が跋扈するだろう。その時、財政ファイナンスがテーマ視されるような状況になることが、為替に限らず、債券や株も含めた円建て資産全般に懸念されるリスクシナリオである。最近、円安になるほど株が売られるという動きがみられているのは、「①円安→②利上げ→③株安」という連想が働いているからだが、財政ファイナンスがテーマ視される状況では②の予想が極端に引き上げられ、円金利の急騰と政府債務の利払い不安が相互連関的に起きやすくなる。そのような状況では日本株も円も売られるだろう(要するにトリプル安が続く)。もちろん、リスクシナリオの範疇にある展開だが、その可能性が徐々に高まっている印象はある。

金融市場部

チーフマーケット・エコノミスト 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065) daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

2024年5月14日 3

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です http://www.mizuhobank.co.ip/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.ip/forex/econ.backnumber.html

1-7月 期間を支払すー最近電き性を一   2024年3月1日   2024年3月1日   2024年3月1日   2024年3月1日   2024年3月1日   2024年3月1日   2024年3月1日   2024年3月1日   2024年3月1日   2024年3月2日   2024		Co.ip/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.ip/forex/econ_backnumber.html
型点性の	発行年月日	過去6か月のタイトル
2014年3月9日		
2004年3月2日		
2004年3月2日   中央東北の地方等・中央地方の表面を表面・中央地方の表面を表面・中央地方の表面を表面・中央地方の表面を表面・中央地方の表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表		
2004年4月10日 のからの担心の対象があった。		
2024年4月39日		
2002年月7月2日		
2002年4月25日   トランア氏と名書「中島、利日本としている」		
2004年3月2日		
2004年1月12日   アル高東上の国際関連・Will 新日子 「2002年7月19日   日本		
2024年4月19日		
2004年4月12日   最近の上が日本日本の日本日本の日本日本の日本日本の日本日本日本日本日本日本日本日本日本日	2024年4月19日	週末版
2004年4月16日 展売のナナリオは米利上で再用・一東川スクと中間 2004年4月16日 米市田人民官家の対外をよった一場前に近れたります。 2004年4月16日 2004年4月16日 金売売をベースだった「家社の内門売り」へので終わる「アンジングングングングングングングングングングングングングングングングングングン	2024年4月18日	IMF世界経済見通しを受けて〜またも「分断」はテーマに〜
2004年4月19日	2024年4月17日	前途多難な貿易収支~待たれる電源構成の変化~
2004年4月12日   本部原人投資家の対外資子20一場(2004年3月分)	2024年4月16日	最悪のシナリオは米利上げ再開~中東リスクと円安
選集版 (FORD 管理場合を対すて、9月 科下付は民族政治体へ) 2024年4月1日		
2004年4月11日	2024年4月12日	
2004年4月10日   表面意本(一大力)で対象が内容が   小りを持たて		
2024年月19日		
2004年4月4日		
2024年4月3日		
2004年4月41日		
2004年4月3日		
2004年4月2日 デジルルボコには大けの開発をどう考えか? 2004年3月2日 1月 2004年3月2日 2004年3月2日 1月 2004年3月2日 1日 2004年3月2日 1月 2004年3月2日 1月 2004年3月2日 1月 2004年3月2日 1月 2		
2024年3月12日		
2024年3月22日   内安 円高		
2024年3月21日		
2024年3月25日 224年東京金融建始社を受けて一条・分集月に過去機高自動へ 2024年3月15日 224年月26日 224年日7月15日 224年月15日 224年月16日 224年月16日 224年月17日 224年17日 22		
2024年3月21日		
2024年3月21日 (黄寿市学への使しより時長した円安 - 日韓決定を受けて - 2024年3月15日		
2024年3月18日 「東で売って、事業でも売りにないそうな日報報 2024年3月18日		
2024年3月15日		
2024年3月14日		
2024年3月18日 最近の国際収支の状況について一0Fでは初月赤字~ 2024年3月8日 最大の円面の入了に目前の連絡性して 3024年3月8日 元素版 (CCB放策理理会を検えて16月まで材料なしへ) 2024年3月8日 元素版 (CCB放策理理会を検えて16月まで材料なしへ) 2024年3月5日 元素版 (CCB放策理理会を検えて16月まで材料なしへ) 2024年3月5日 元素版 (CCB放策理理会を検えて16月まで材料なしへ) 2024年3月21日 月最早3月機能よ月の環備へて2024年3月3日 元素版 (CCB放策理理会を検えて16月また) 2024年3月21日 月最早3月機能よ月の環備へて2024年3月3日 日最いの主意ので変した。 2024年3月21日 月最早3月機能よ月の環備へて2024年3月3日 日報5月24年2月27日 月最級収支を受けて224年4月3日 日報6月24年2月27日 月度 2024年3月3日 日報6月24年2月27日 月度 2024年2月18日 日報6月24年2月25日 日報6月24日24日24日24日24日24日24日24日24日24日24日24日24日2	2024年3月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年2月分)
2024年3月18日		
2024年3月5日   国本版 (COR放生理事会を持えて~6月まで材料にし~)   2024年3月5日   世界の帳債数から見える(かの一中当園の容疑~ 2024年3月5日   国本版 (C47 大 金利飯飯 たい) 一世語のではドル(ア田県、数少ない押し目の考え方~)   2024年2月27日   国本版 (C47 大 金利飯飯 たい) 一世語のではドル(ア田県、数少ない押し目の考え方~)   2024年2月27日   国表版 (C47 大 金利飯飯 によりの頃 にかい		
2024年3月5日 世界の株価指数から見えるもの〜中途園の容疑〜 2024年3月1日 日東京の現代大陸で、東村育産は平下ルノ円相場、数少ない押し目の考え方〜) 2024年2月27日 ユーロ圏の党党・物価情勢と単元素体から〜 2024年2月27日 日東での現代大陸で、金砂上高校から〜 2024年2月27日 日東の財産と同じ、一部で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学		
2024年3月5日 ユーロボの資金・物価情勢〜契結資金は年内496台か〜 2024年2月27日		
2024年3月1日		
2024年2月27日		
2024年2月21日   日東日野球橋正月の理由ペインアルの帰結~   2024年2月21日   日東日野東京大学   2024年2月21日   日東日野東京   2024年2月1日   日東日野東京   2024年2月1日   日東日野東京   2024年2月1日   日東日野東京   2024年2月1日   日東日野東京   2024年2月1日   2世末   2024年2月1日   2024年2月2日   2世末   2024年2月2日   2世末   2024年2月2日   2世末   2024年2月2日   2世末   2024年2月2日   2世末   2024年2月2日   2世末   2024年2月2日   2024		
2024年2月22日 月景泉収支を受けて〜24年も日赤り委奏方わす〜 2024年2月16日 現実版 2024年2月16日 現実版 2024年2月16日 現実版 2024年2月16日 海東版 2024年2月16日 海東版 2024年2月16日 新時代の赤す」に原連と同質性 2024年2月17日 日東のアを受けて〜28年と「大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大		
2024年2月16日   1月貿易収支を受けて〜24年4円おり優勢変わらず〜   2024年2月16日   週末版   2024年2月16日   週末版   2024年2月16日   週末版   2024年2月16日   2024年2月16日   2024年2月17日   2024年2月18日   大野10~12月期の0子受けて〜影開れ〜   本野10~12月期の0子受けて〜影開れ〜   2024年2月18日   2024年2月19日   2024年2月2日   2024年2		
2024年2月15日   独北版   2024年2月15日   本邦組入投資家の対外量を2つ一動向(2024年1月分)		
2024年2月16日   黒末版		
2024年2月15日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2024年1月分) 本邦10-01-2月期に02を受けて、総約4、		
#期10~12月期GDPを受けてへ総筋れ~ 2024年2月13日 欠価節時代の赤子と原動と同質性 2024年2月13日 欠価節無字原での赤子と原動と同質性 2024年2月13日 欠価節無字原の場合リエデジタル農坂~ 2024年2月13日 欠価節無字原の場合リエデジタル農坂~ 2024年2月13日 欠価節無字原の場合リエデジタル農坂~ 2024年2月13日 内価の黒字原への出てデンタル農坂~ 2024年2月13日 内価の黒字原の場合リエデジタル農坂~ 2024年2月13日 FOMCを終えてへ急格市場が選引プスの護物)~ 2024年1月29日 日本内の現在地・池券でであまった2024年~ 2024年1月21日 日本内の現在地・池券でであまった2024年~ 2024年1月21日 日本内の現在地・池券でであまった2024年~ 2024年1月21日 日本内の現在地・池券でであまった2024年~ 2024年1月21日 日本内の現在地・池券での地である。 2024年1月21日 日本の内電力・出版を係り入び、中央の地でかった。 2024年1月19日 日本内の売り上に接接のレバトリの違い 2024年1月19日 日本内の売り上に接接のレバトリの違い 2024年1月19日 日本内の売り上で表しまの表の影響~ 2024年1月19日 「新時への赤手の定点観測と全後の高齢イテジー 2024年1月19日 フィルド・キャビタルフライト(前端)~家計の円売りー 2024年1月19日 フェーロ圏インフル率の近況~再浮傷の読み方~ 2024年1月19日 農災と旅行収支の関係について~2011年からの教訓~ 2024年1月19日 農火旅行収支の関係について~2011年からの教訓~ 2024年1月19日 現本版 2024年1月19日 日本財産と発生の影響の表の方へと 2024年1月19日 別本版・監を書も地域の影響について・作者造変化を経て「普通の通貨川になった円~) 2024年1月19日 別本版・歴史手を地域の影響について・小質性資産比率は「根電」のイメージで~) 2024年1月19日 日産船政東が変を含く不解か時間と円相場への影響~ 2024年1月19日 別末版(ECB政策理事をを終えて~「利上げ・制下げ」の考え方~) 2023年12月19日 日産・大川・伊藤・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・		
2024年2月18日		
2024年2月9日   漫末版   2024年2月8日   仮面の黒宇国〜戻らぬ円とデジタル最数~   2024年2月7日   2024年2月1日   7000年2月2日   黒末版 (シアシラン・ベント2間をという未来~   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月20日   2024年2月20日   2024年2日   2024年2月20日   2024年2月20日   2024年2月20日   2024年2月20日   2024年2日   2024年2月20日   2024年2日   2024年2月20日   2024年2日   2024年2	2024年2月14日	
2024年2月9日   漫末版   2024年2月8日   仮面の黒宇国〜戻らぬ円とデジタル最数~   2024年2月7日   2024年2月1日   7000年2月2日   黒末版 (シアシラン・ベント2間をという未来~   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月2日   2024年2月20日   2024年2月20日   2024年2日   2024年2月20日   2024年2月20日   2024年2月20日   2024年2月20日   2024年2日   2024年2月20日   2024年2日   2024年2月20日   2024年2日   2024年2		投信経由の対外証券投資~滲む資産運用立国の未来~
2024年2月1日   2024年2月1日   2024年2月1日   2024年2月1日   70MCを終えて〜為替市場が担う「次の獲物」〜 2024年1月29日   2024年1月21日   2024年1月21日   2024年1月21日   2024年1月21日   2024年1月21日   2024年1月21日   2024年1月21日   2024年1月22日   2024年1月21日   2024年2月21日   2024年2月	2024年2月9日	
2024年2月1日   四末版(ソアシア・アングと質金減速・正当性を帯びる「夏」の重要性~)	2024年2月8日	仮面の黒字国〜戻らぬ円とデジタル農奴〜
2024年1月18日   日内の区を終えて、本著市場が狙う「次の獲物」〜 2024年1月25日   週末版(ECB政策理事金を終えて、「夏」がキーフレーズ〜) 1 日銀金融政策決定会合へ機り込んでも円安の怖さ〜 2024年1月26日   日銀金融政策決定会合へ機り込んでも円安の怖さ〜 2024年1月27日   日販金融政策決定会合へ機り込んでも円安の怖さ〜 2024年1月27日   日販金融政策が、2024年1月27日   「家計の円売り」と「提保のレバトリ」の違い 2024年1月17日   「京計の円売り」と「提保のレバトリ」の違い 2024年1月17日   新時代の赤手」の定点観測と一後のであり、 2024年1月17日   「野番から逃避」で進む円の地歩安へ現休整理〜 2024年1月17日   「新時代の赤手」の定点観測と一後の書給イメージ 2024年1月16日 マイルド・キャビクルフライト(後編)〜需給への評価〜 2024年1月16日 マイルド・キャビクルフライト(後編)〜需給への評価〜 2024年1月17日   「財務・ら逃避」で進む円の地歩安へ現休整理〜 2024年1月16日 マイルド・キャビクルフライト(後編)〜需給への評価〜 2024年1月17日   選末版 2024年1月18日   選末版 2024年1月19日   選末版 2024年1月19日   選末版 2024年1月19日   選末版 2024年1月19日   選末版 2024年1月19日   選集 2024年1月19日   選集 2024年1月19日   選集 2024年1月19日   選集 2024年1月19日   選集 2024年1月19日   選集 2024年1月19日   2024年1月19日   24年、持つべきイメージは「長期円安局面の小休止」 2023年12月19日   日銀金融政策決定金合へ解除時期と円相場への影響〜 2023年12月18日   2024年   円需給の考え方〜円転車や貿易収支が課題〜 2023年12月18日   2024年   日報会会の行うたの大き融資産助局について〜24年16月17日   本部価人投資家の対外資金フー動向(2023年11月分)   中部価人投資家の対外資金フー動向(2023年11月分)   中部価人投資家の対外資金フー動の(2023年11月分)   中部価人投資家の対外資金フー・動の(2023年11月分)   日報金を持ていて、24年4・脆別性は残る〜 2023年12月18日   選末版(円高と相田発言の読み方へを出た解釈を選集へ 2023年12月18日   選末版(円高と相田発言の読み方へ手やレンジングの真金〜) 2023年12月1日   24年1ル/円見通と相田発言の読みカーケ・拡大解釈を選集へ 対内直接投資の開始と今後の展望 2023年12月1日   選末版(円高と相田発言の読みカーケ・拡大解釈を選集へ 対内直接投資の開始とのの表との上を確認するの本・1月28日   選末版(円高と相田発言の読みカーケ・拡大解釈を選集へ 対内直接投資の指し対しを選集の変化との比較〜 2023年11月28日   選末版(円高と相田発音のとの主なの表別がよりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりま		
2024年1月29日   日本円の現在地〜独歩安で始まった2024年~ 2024年1月28日   図末版(ECB政策理事会を終えて〜「夏」がキーフレーズ〜) 2024年1月28日   日盤金融政策及定会会〜機以込んでも円安の怖さ〜 2024年1月29日   下部が内売り上では果のレバトリ」の違い 2024年1月19日   選末版 2024年1月19日   選末版 2024年1月19日   河野村の円売り上では果のレバトリ」の違い   「貯蓄から透影」で進む円の地歩安〜現状整理〜 2024年1月19日   イルド・キャビクルフライト(前編)〜震幹の円売り上では、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、中で、		
2024年1月25日   国東版 (ECDB敦理事会を終えて~「夏」がキーフレーズ~)		
2024年1月23日   日銀金融政策決定会合・繰り込んでも円安の怖さ~   2024年1月22日   で家計の円売り上で損疾のレバトリの違い   2024年1月19日   選末版   2024年1月18日   本村個人投資家の対外資金フロ一動向(2023年12月分)   「貯蓄から逃避」で進い門の独歩安〜現状整理~   2024年1月16日   マイルド・キャビクルフライト(機綱)~需給への評価~   マイルド・キャビクルフライト(機綱)~需給への評価~   2024年1月16日   マイルド・キャビクルフライト(機綱)~素給への評価~   2024年1月16日   マイルド・キャビクルフライト(機綱)~家計の円売り~   2024年1月19日   ユーロ圏・フレー車の近況と今後の需給イメージ   2024年1月19日   ユーロ圏・フレー車の近況と今再7時の一売り~   2024年1月19日   ユーロ圏・フレー車の近況と今再7時のであまり   2024年1月19日   ユーロ圏・フレー車の近況との再7時のであまり   2024年1月19日   ユーロ圏・フレー車の近況との再7時のであまり   2024年1月19日   工事版(鑑学・日本でのでは、日本では、日本でのでは、日本でのでは、日本でのでは、日本でのでは、日本でのでは、日本でのでは、日本でのでは、日本でのでは、日本でのでは、日本でのでは、日本でのでは、日本でのでは、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本		
2024年1月23日   「家計の円売り」と「損保のレバトリの遠い   2024年1月19日   国本版   2024年1月19日   国本版   2024年1月19日   本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年12月分)   「財計から逃避」で進む円の独立をつ現大影理~   2024年1月17日   「新時代の赤字」の定点観測と今後の需給イメージ   2024年1月17日   「新時代の赤字」の定点観測と今後の需給イメージ   2024年1月17日   2023年12月17日   2023年12月17日   2023年12月17日   2023年12月17日   2023年12月17日   2023年12月17日   2023年12月17日   2023年12月17日   2024年1月17日   2024年1月17日   2024年1月17日   2024年1月17日   2024年12月17日   2024年1月17日   2024年12月17日   2023年12月17日   2024年12月17日   2023年12月17日   2023年12月27日   2023年127日   20		
2024年1月19日		
2024年1月19日   恵末版   本邦側人投資家の対外資金フロー動向(2023年12月分)		
2024年1月18日 本邦圏 投資家の対外資金フロー動向(2023年12月分)   「貯蓄から逃避で進む円の抽歩安へ現状整理~   2024年1月16日 マイルド・キャビタルフライト(後編)〜需給ヘル評価〜   2024年1月15日 マイルド・キャビタルフライト(後編)〜需給への評価〜   2024年1月16日 マイルド・キャビタルフライト(動編)〜需約・アンスの14年1月17日   フェルド・キャビタルフライト(動編)〜変計の円売り〜   2024年1月18日   フェルアの近況〜再浮揚の読み方〜   2024年1月19日   大大統領選挙の考え方〜メインシナリオを覆すか〜   2024年1月9日   選集版(企業・島地震の影響について〜2011年からの教訓〜   2024年1月9日   選末版(企業・島地震の影響について〜推造変化を経て「普通の通貨」になった円〜)   2024年1月9日   選集版(本料の家計金融資産動向について〜水賃性資産比率は「根雪」のイメージで〜)   2023年12月28日   国来版(本科の家計金融資産動向について〜水賃性資産比率は「根雪」のイメージで〜)   2023年12月18日   日銀金融政策決定会会〜解除時期と円相場への影響〜  2023年12月18日   日銀金融政策決定会会〜解除時期と円相場への影響〜  2023年12月18日   国末版(ECB政策理事会を終えて〜「利上げー利下げ」の考え方〜)   2023年12月18日   国末版(ECB政策理事会を終えて〜「利上げー利下げ」の考え方〜)   2023年12月18日   最近の需給環境について〜24年も能弱性は残る〜  2023年12月18日   最近の需給環境について〜24年も能弱性は残る〜  2023年12月18日   国末版(円高と極田発言の読み方〜サレンジングの真意〜)   2023年12月18日   国末版(円高と極田発言の読み方〜チャレンジングの真意〜)   2023年12月18日   国末版(円高と極田発言の読み方〜ボ山大経釈を警戒〜  2023年12月1日   日本・オール・発言の読み方〜ボ山大経釈を警戒〜  2023年12月1日   国末版(コーロ圏11月消費者物価指数の読み方〜「最後の碧」となるサービス業〜)   2023年12月1日   国末版(コーロ圏1月消費者物価指数の読み方〜「最後の碧」となるサービス業〜)   2023年11月28日   国末版(関考赤字国が迎える米利下げー通貨高は当たり前ではない〜)   2023年11月21日   国末版(関考赤字国が迎える米利下げー通貨高は当たり前ではない〜)   2023年11月21日   国表とPPPの考え方〜収数するのか、しないのか〜  2023年11月21日   国表とPPPの考え方〜収数するのか、しないのか〜  2023年11月21日   過去最安値に内演する円の名目実効相場(NEER)		
「貯蓄から逃避」で進む円の独歩安・現状整理〜 2024年1月16日		
2024年1月17日   新時代の赤字」の定点観測と今後の需給イメージ   2024年1月18日   マイルド・キャピタルフライト(後編)~需給への評価~   2024年1月19日   週末版   2024年1月19日   週末版   2024年1月11日   ユーロ圏インフレ率の近況~再浮揚の読み方~   2024年1月11日   ユーロ圏インフレ率の近況~再浮揚の読み方~   2024年1月19日   米大統領選挙の考え方~メインシナリオを覆すか~   2024年1月9日   米大統領選挙の考え方~メインシナリオを覆すか~   2024年1月9日   選求版(能登半島地震の影響について~程度すか~   2024年1月9日   24年、持つべきイメージは「長期円安局面の小休止」   2023年12月22日   週末版(本野の家計金融資産動向について~外貨性資産比率は「根雪」のイメージで~)   2023年12月18日   2024年、円需給の考え方~円転率や貿易収支が課題~   2023年12月18日   2024年、円需給の考え方~円転率や貿易収支が課題~   2023年12月18日   2024年、円需給の考え方~円転率や貿易収支が課題~   2023年12月18日   2024年、日報告の参え方~回転率や貿易収支が課題~   2023年12月19日   最近の需給環境について24年も脆弱性は接合~   2023年12月19日   2023年12月19日   212月日銀会のがアラルウが関点   2000年との比較~   2023年12月11日   24年ドル/円見通/外観~「主戦場の変化」を確認する年~   2023年12月1日   24年ドル/円見通/外観~「主戦場の変化」を確認する年~   2023年12月1日   24年ドル/円見通/外観~「主戦場の変化」を確認する年~   2023年12月1日   24年ドル/円見通が観~「主戦場の変化」を確認する年~   2023年12月1日   24年・円高シナリオの鮮度~130円割れはあれど~   2023年12月1日   24年・円高シナリオの鮮度~130円割れはあれど~   2023年11月24日   24年・円高リカリカを経入の展望   2023年11月28日   24年・円高リカリカを経入の展望   2023年11月28日   24年・円高・アリオの経済とECB金融政策の現状と展望   2023年11月21日   四高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月21日   四高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月21日   四高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月21日   四高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月21日   四高とPPPの考え方~収斂するのか、しないの~   2023年11月21日   四高とPPPの考え方で収斂するのか、しないの~   2023年11月21日   四高とPPPの考え方の収入を開始の表述を開始を開始しまれば、PPPの考え方の収入を開始しまれば、PPPの考え方の収入を開始しまれば、PPPの考え方の収入を開始しまれば、PPPの表え方の収入を開始しまれば、PPPの表え方のでは、PPPのでは、PPPのでは、PPPのでは、PPPのでは、PPPのでは、PPPのでは、PPPのでは、PPPPのでは、PPPのでは、PPPのでは、PPPのでは、PPPのでは、PPPPのでは、PPPPのでは、PPPPのでは、PPPPのでは、PPPPのでは、PPPPPのでは、PPPPPPのでは、PPPPPPPのでは、PPPPPPPPPP	2021717101	
2024年1月16日 マイルド・キャピタルフライト(後編)~需給への評価~ 2024年1月15日 マイルド・キャピタルフライト(前編)~家計の円売り~ 2024年1月11日 ユーロ圏インフレ率の近況~再浮揚の読み方~ 2024年1月10日 農災と旅行収支の関係について~2011年からの教訓~ 2024年1月9日 米大統領選挙の考え方・メインシナリナを覆すか~ 2024年1月9日 温末版(能登半島地震の影響について~横造変化を経て「普通の通貨」になった円~) 2024年1月4日 24年、持つべきイメージは「長期円安局面の小休止」 2023年12月2日 週末版(非数・東京・一般に対して、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2024年1月17日	
2024年1月15日   マイルド・キャピタルフライト(前編)〜家計の円売り〜 2024年1月12日   週末版		マイルド・キャピタルフライト(後編)~需給への評価~
2024年1月11日	2024年1月15日	マイルド・キャピタルフライト(前編)~家計の円売り~
2024年1月10日		
2024年1月9日   米大統領選挙の考え方〜メインシナリオを覆すか〜   2024年1月5日   週末版(能登半島地震の影響について〜構造変化を経て「普通の通貨」になった円〜)   2024年1月4日   24年、持つべきイメージは「長期円安局面の小休止」   2023年12月22日   週末版(本邦の家計金融資産動向について〜外貨性資産比率は「根雪」のイメージで〜)   2023年12月20日   日銀金融政策決定会合〜解除時期と円相場への影響〜   2023年12月18日   2024年、日需給の考え方〜円転率や貿易収支が課題〜   2023年12月18日   2024年、日需給の考え方〜円転率や貿易収支が課題〜   2023年12月15日   週末版(ECB政策理事会を終えて〜「利上げー利下げ」の考え方〜)   2023年12月14日   本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年11月分)   FOMCを終えて〜突然変わった節目、日銀への影響も〜   2023年12月13日   最近の需給環境について〜24年も脆弱性は残る〜   2023年12月11日   24年ドル/円見通し外観〜「主戦場の変化」を確認する年〜   2023年12月1日   24年ドル/円見通し外観〜「主戦場の変化」を確認する年〜   2023年12月1日   24年ドル/円見通し外観〜「主戦場の変化」を確認する年〜   2023年12月1日   24年ドル/円見通し外観〜「主戦場の変化」を確認する年〜   2023年12月1日   24年、円高と植田発言の読み方〜ボ太ך報を警戒〜   2023年12月1日   24年、円高シナリオの鮮度〜130円割れはあれど〜   2023年11月28日   24年、円高シナリオの鮮度〜130円割れはあれど〜   2023年11月28日   ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望   2023年11月28日   ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望   2023年11月24日   週末版(貿易赤字国が迎える米利下げ〜通貨高は当たり前ではない〜)   2023年11月21日   円高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜   2023年11月21日   用高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜   2023年11月21日   過去最安値に内薄する円の名目実効相場(NEER)		
2024年1月5日		
2024年1月4日   24年、持つべきイメージは「長期円安局面の小休止」   2023年12月2日   週末版(本邦の家計金融資産動向について〜外貨性資産比率は「根雪」のイメージで〜)   2023年12月18日   103金融政策決定会合〜解除時期と円相場への影響〜  2023年12月18日   2024年、円需給の考え方〜円転率や貿易収支が課題〜  2023年12月18日   週末版(住の政策理事会を終えて〜「利上げー利下げ」の考え方〜)   2023年12月14日   本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年11月分)   FOMCを終えて〜突然変わった節目、日銀への影響も〜  2023年12月13日   最近の需給環境について〜24年も脆弱性は残る〜  2023年12月13日   12月日銀会合の行方〜政治的観点、2000年との比較〜  2023年12月18日   24年ドル/円見通し外観〜「主戦場の変化」を確認する年〜  2023年12月8日   週末版(円高と植田発言の読み方〜拡大解釈を警戒〜  2023年12月1日   24年ドル/仲見通し外観〜「主戦場の変化」を確認する年〜  2023年12月1日   24年ドル/発言の読み方〜拡大解釈を警戒〜  2023年12月1日   24年、川高シナリオの鮮度へ3の展望   2023年12月1日   24年、円高シナリオの鮮度〜130円割れはあれど〜  2023年12月1日   24年、円高シナリオの鮮度〜130円割れはあれど〜  2023年11月1日   24年、円高シナリオの鮮度〜130円割れはあれど〜  2023年11月1日   24年、円高シナリオの鮮度〜130円割れはあれど〜  2023年11月1日   週末版(ユーロ圏11月消費者物価指数の読み方〜「最後の砦」となるサービス業〜) 2023年11月21日   四高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜  2023年11月21日   円高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜  2023年11月21日   円高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜  2023年11月21日   円高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜  2023年11月21日   日高とBPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜  2023年11月21日   日高とBPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜  2023年11月21日   日高とBPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜  2023年11月21日   日高とBPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜  2023年11月21日   日高とBPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜  2023年11月21日   日本に関する日本のがより前ではない〜)		
2023年12月22日 週末版(本邦の家計金融資産動向について〜外貨性資産比率は「根雪」のイメージで〜) 2023年12月18日 2024年、円需給の考え方〜円転率や貿易収支が課題〜 2023年12月18日 週末版(ECB政策理事会を終えて〜「利上げー利下げ」の考え方〜) 2023年12月18日 週末版(ECB政策理事会を終えて〜「利上げー利下げ」の考え方〜) 2023年12月19日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年11月分) FOMCを終えて〜突然変わった節目、日銀への影響も〜 2023年12月13日 最近の需給環境について〜24年も脆弱性は残る〜 2023年12月12日 12月日銀会合の行方〜政治的観点、2000年との比較〜 2023年12月1日 24年ドル/円見通し外観〜「主戦場の変化」を確認する年〜 2023年12月8日 週末版(円高と植田発言の読み方〜ボ大解釈を警戒〜 2023年12月1日 12日の議と後の表にとがよりから、シュナーベル発言の読み方〜拡大解釈を警戒〜 2023年12月1日 24年ドル/円見通し外観〜「主戦場の変化」を確認する年〜 2023年12月1日 24年、川高シナリオの鮮度へ130円割れはあれど〜 2023年12月1日 24年、円高シナリオの鮮度〜130円割れはあれど〜 2023年12月1日 週末版(ユーロ圏11月消費者物価指数の読み方〜「最後の砦」となるサービス業〜) 2023年11月28日 ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望 2023年11月21日 用高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜 2023年11月21日 円高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜 2023年11月21日 円高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜 2023年11月21日 円高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜 2023年11月21日 過去最安値に内薄する円の名目実効相場(NEER)		
2023年12月20日 日銀金融政策決定会合~解除時期と円相場への影響~ 2023年12月18日 2024年、円需給の考え方~円転率や貿易収支が課題~ 2023年12月15日 週末版(ECB政策理事会を終えて~「利上げ一利下げ」の考え方~) 2023年12月14日 本邦個人投資家の対外資金フロ一動向(2023年11月分) FOMCを終えて~突然変わった節目、日銀への影響も~ 2023年12月13日 最近の需給環境について~24年も脆弱性は残る~ 2023年12月12日 12月日銀会合の行方~政治的観点、2000年との比較~ 2023年12月11日 24 年ドル/円見通し外観~「主戦場の変化」を確認する年~ 2023年12月1日 24 年ドル/円見通し外観~「主戦場の変化」を確認する年~ 2023年12月1日 12月 ECB、シュナーベル発言の読み方~ギャレンジングの真意~) 2023年12月1日 26 ECB、シュナーベル発言の読み方~拡大解釈を警戒~ 2023年12月1日 27 日本 27		
2023年12月18日   2024年、円需給の考え方~円転率や貿易収支が課題~   2023年12月15日   週末版(FCB政策理事会を終えて~「利上げ→利下げ」の考え方~)   2023年12月14日   本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年11月分)   FOMCを終えて~突然変わった節目、日銀への影響も~   2023年12月13日   最近の需給環境について~24年も脆弱性は残る~   2023年12月13日   21月日銀会合の行方~政治的観点、2000年との比較~   2023年12月11日   24年ドル/円見通し外観~「主戦場の変化」を確認する年~   2023年12月1日   24年ドル/円見通し外観~「主戦場の変化」を確認する年~   2023年12月1日   ECB、シュナーベル発言の読み方~ボ大解釈を警戒~   2023年12月1日   ECB、シュナーベル発言の読み方~拡大解釈を警戒~   2023年12月1日   24年、円高シナリオの鮮度~130円割れはあれど~   2023年12月日   週末版(ユーロ圏11月消費者物価指数の読み方~「最後の砦」となるサービス業~)   2023年11月28日   ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望   2023年11月24日   週末版(貿易赤字国が迎える米利下げ~通貨高は当たり前ではない~)   2023年11月21日   用高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月21日   用高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月21日   過去最安値に内薄する円の名目実効相場(NEER)		
2023年12月15日 週末版(ECB政策理事会を終えて~「利上げ→利下げ」の考え方~) 2023年12月14日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年11月分) FOMCを終えて~突然変わった節目、日銀への影響も~ 2023年12月13日 最近の需給環境について~24年も脆弱性は残る~ 2023年12月12日 12月日銀会合の行方~政治的観点、2000年との比較~ 2023年12月1日 24 年ドル/円見通し外観~「主戦場の変化」を確認する年~ 2023年12月8日 週末版(円高と植田発言の読み方~エ大解釈を警戒~ 2023年12月8日 図表版(円高と植田発言の読み方~ボ大解釈を警戒~ 2023年12月6日 対内直接投資の胎動と今後への展望 2023年12月1日 24年、円高シナリオの鮮度~130円割れはあれど~ 2023年12月1日 週末版(ユーロ圏11月消費者物価指数の読み方~「最後の砦」となるサービス業~) 2023年11月28日 ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望 2023年11月28日 コーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望 2023年11月21日 円高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~ 2023年11月21日 円高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~		
2023年12月14日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年11月分)   FOMCを終えて〜突然家わった節目、日銀への影響も〜   2023年12月13日   最近の需給環境について〜24年も脆弱性は残る〜   2023年12月12日   12月日銀会合の行方〜政治的観点、2000年との比較〜   2023年12月1日   24年ドル/円見通し外観〜「主戦場の変化」を確認する年〜   2023年12月1日   24年ドル/円見通し外観〜「主戦場の変化」を確認する年〜   2023年12月1日   週末版(円高と植田発言の読み方〜ボ大解釈を警戒〜   2023年12月1日   世の場合を受けるでは、2023年12月1日   世の場合を受けるでは、2023年12月1日   24年、円高シナリオの鮮度〜130円割れはあれど〜   2023年12月1日   24年、円高シナリオの鮮度〜130円割れはあれど〜   2023年12月1日   週末版(ユーロ圏11月消費者物価指数の読み方〜「最後の砦」となるサービス業〜)   2023年11月28日   ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望   2023年11月24日   週末版(貿易赤字国が迎える米利下げ〜通貨高は当たり前ではない〜)   2023年11月21日   円高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜   2023年11月21日   円高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜   2023年11月20日   過去最安値に肉薄する円の名目実効相場(NEER)		
FOMCを終えて〜突然変わった節目、日銀への影響も〜 2023年12月13日 最近の需給環境について〜24年も脆弱性は残る〜 2023年12月12日 12月日銀会合の行方〜政治的観点、2000年との比較〜 2023年12月11日 24 年ドル/円見通し外観〜「主戦場の変化」を確認する年〜 2023年12月8日 週末版(円高と植田発言の読み方〜ボス解釈を警戒〜 2023年12月7日 ECB、シュナーベル発言の読み方〜拡大解釈を警戒〜 2023年12月6日 対内直接投資の胎動と今後への展望 2023年12月6日 24年、円高シナリオの鮮度〜130円割れはあれど〜 2023年12月1日 週末版(ユーロ圏11月消費者物価指数の読み方〜「最後の砦」となるサービス業〜) 2023年11月28日 ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望 2023年11月24日 週末版(貿易赤宇国が迎える米利下げ〜通貨高は当たり前ではない〜) 2023年11月21日 円高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜 2023年11月21日 過去最安値に内薄する円の名目実効相場(NEER)		
2023年12月13日   最近の需給環境について~24年も脆弱性は残る~   2023年12月12日   12月日銀会合の行方~政治的観点、2000年との比較~   2023年12月11日   24年ドル/円見通し外観~「主戦場の変化」を確認する年~   2023年12月1日   24年ドル/円見通し外観~「主戦場の変化」を確認する年~   2023年12月1日   2023年12月1日   ECB、シュナーベル発言の読み方~拡大解釈を警戒~   2023年12月6日   対内直接投資の胎動と今後への展望   2023年12月6日   対内直接投資の胎動と今後への展望   2023年12月1日   週末版(ユーロ圏11月消費者物価指数の読み方~「最後の砦」となるサービス業~)   2023年11月28日   ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望   2023年11月24日   週末版(第3赤字国が迎える米利下げ~通貨高は当たり前ではない~)   2023年11月21日   用高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月21日   用高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月21日   過去最安値に肉薄する円の名目実効相場(NEER)		
2023年12月12日   12月日銀会合の行方~政治的観点、2000年との比較~   2023年12月11日   24年ドル/円見通し外観~「主戦場の変化」を確認する年~   2023年12月8日   週末版(円高と植田発言の読み方~チャレンジングの真意~)   2023年12月7日   ECB、シュナーベル発言の読み方~拡大解釈を警戒~   2023年12月6日   対内直接投資の胎動と今後への展望   2023年12月4日   24年、円高シナリオの鮮度~130円割れはあれど~   2023年12月1日   週末版(ユーロ圏11月消費者物価指数の読み方~「最後の砦」となるサービス業~)   2023年11月28日   ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望   2023年11月28日   2023年11月28日   四高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月21日   円高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月20日   過去最安値に肉薄する円の名目実効相場(NEER)	2023年12月13日	
2023年12月11日   24 年ドル/円見通し外観~「主戦場の変化」を確認する年~   2023年12月8日   週末版(円高と植田発言の読み方~チャレンジングの真意~)   2023年12月7日   ECB、シュナーベル発言の読み方~拡大解釈を警戒~   2023年12月6日   対内直接投資の胎動と今後への展望   2023年12月4日   24年、円高シナリオの鮮度~130円割れはあれど~   2023年12月1日   週末版(ユーロ圏11月消費者物価指数の読み方~「最後の砦」となるサービス業~)   2023年11月28日   ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望   2023年11月28日   2023年11月28日   四高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月21日   円高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月20日   過去最安値に肉薄する円の名目実効相場(NEER)		
2023年12月8日		
2023年12月7日   ECB、シュナーベル発言の読み方~拡大解釈を警戒~   2023年12月6日   対内直接投資の胎動と今後への展望   2023年12月4日   24年、円高シナリオの鮮度~130円割れはあれど~   2023年12月1日   週末版(ユーロ圏11月消費者物価指数の読み方~「最後の砦」となるサービス業~)   2023年11月28日   ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望   2023年11月28日   週末版(貿易赤字国が迎える米利下げ~通貨高は当たり前ではない~)   2023年11月21日   円高とPPで考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月21日   西去最安値に肉薄する円の名目実効相場(NEER)		
2023年12月6日 対内直接投資の胎動と今後への展望   2023年12月4日   24年、円高シナリオの鮮度~130円割れはあれど~   2023年12月1日   週末版(ユーロ圏1月消費者物価指数の読み方~「最後の砦」となるサービス業~)   2023年11月28日   ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望   2023年11月24日   週末版(貿易赤字国が迎える米利下げ~通貨高は当たり前ではない~)   2023年11月21日   円高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~   2023年11月20日   過去最安値に肉薄する円の名目実効相場(NEER)		
2023年12月1日 週末版(ユーロ圏11月消費者物価指数の読み方〜「最後の砦」となるサービス業〜) 2023年11月28日 ユーロ圏経済とECB金融政策の現状と展望 2023年11月24日 週末版(貿易赤宇国が迎える米利下げ〜通貨高は当たり前ではない〜) 2023年11月21日 円高とPPPの考え方〜収斂するのか、しないのか〜 2023年11月20日 過去最安値に肉薄する円の名目実効相場(NEER)		
2023年11月28日	2023年12月4日	24年、円高シナリオの鮮度~130円割れはあれど~
2023年11月24日		
2023年11月21日 円高とPPPの考え方~収斂するのか、しないのか~ 2023年11月20日 過去最安値に肉薄する円の名目実効相場(NEER)		
2023年11月20日 過去最安値に肉薄する円の名目実効相場(NEER)		
ZUZ3年11月17日  週木版(本邦1U月頁易就計を受けて〜繰り返されるZ3年と同じ言説〜)		
	2023年11月1/日	週本版\本が10月頁易朝訂を実行し~練り返される23年と同し音説~